

認定番号 123-2

樹種名	リュウキュウマツ	科名	マツ科	方言名	マーチ	学名	<i>Pinus luchuensis</i> Mayr				
形状・寸法	樹高 9.7 m	胸高周囲 2.3 m	根本周囲 2.8 m	樹幹占有面積 115.8 m ²							
	枝下高 3.1 m	枝張 東 5.8 m 西 7 m	南 6 m 北 5.5 m	最大樹冠幅 12.8 m							
通称	後原の二本松		樹齢 100 年(推定)	所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 其他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 其他民有 9 不明 備考:後原自治会						
所在地	八重瀬町字後原523(公民館敷地内)			状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他						
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 洋所 8 市街地 9 街路 10 その他										
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹 6 名木 7 その他 8 なし			気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ()				(最寄りのアメダステータ)	平均気温(°C)	15.3	16.1	16.7	19.1	21.9
周囲の状況	1 平坦(10~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:			地点:系数	降水量(mm)	42.5	268.5	220.0	105.0	416.5	346.5
	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 (石灰岩上)				2014年	平均風速	5.9	6.1	6.0	5.4	4.9
土壌	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪窪 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他			潮風の影響	風向	N	N	N	E	ESE	N
	1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない				日照条件	1 良好 2 普通 3 やや不良 4 不良					
根元及び周囲の植生	草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし			周辺樹木との関係	周辺樹木の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))					
	1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない				周辺根元の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし					
管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m、材質 () 柵内面積 (m ²) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他			過去の治療歴と内容	グリーンガード12本注入済(平成23年3月15日)						
	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 6 不明				視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)					
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類) 3 見学・参観者 a 有 b 無 (有の場合その数) 4 その他 生徒・父兄等										

地上部の衰退度判定（認定番号123-2）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ショウガ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く、胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 1.82

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

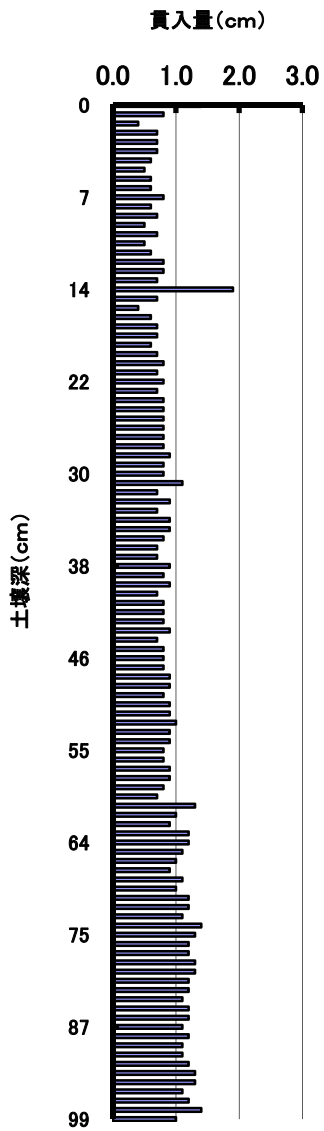
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係				○
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ				○
中・小枝落下				○
幹の傾斜の増大	○			
その他()				

土壤調査結果 (認定番号 123-2)

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)	備考
I	7.5YR5/4	0-16	粒状	埴壤土	8.0	1.0	客土
II	2.5YR4/3	16-	—	壤土			

土壤貫入量結果



後原の二本松(西)

部位	所見	対応
土壌	・踏圧により土壌の固結が著しい。	・エアレーションの実施、立ち入り制限を検討する。 ・土壌改良を検討する。方法として、穴に完熟堆肥を投入し坪状に数箇所ずつ、数年をかけて緩やかに行うことが望ましい。
	・シロアリ防除剤(ベイト剤)が施用されている。	・継続実施を検討する。
根	・露出根があり、踏みつけにより樹皮に欠損が見られる。 ・地際に鋼棒貫入異常は無く腐朽は認められない。	・露出根の保護を検討する。
幹	・東面地上高 70~125cmの位置に大幅 35cm の傷があり、モルタルで塞がれている。施術は良好である。	・無し。
	・マツ材線虫病予防の樹幹注入が施されている。	・継続実施することが望ましい。
枝	・東側に大きく張り出した一次枝は枯死。西側の太枝も枯死。 ・小枝の枯れが枝端で目立つ。	・切除、及び切り口に殺菌癒合剤の塗布を検討する。
葉	・先端に勢いが無い。	・無し
備考	・樹勢の衰えが見られる。	

